

歴史散歩

No.52

岩神(朽木岩瀬)の將軍御所

戦国時代、京都での戦禍を避けるため、室町幕府の12代將軍足利義晴(1511-1550年)と、その子13代將軍足利義輝(1536-1565年)は、三度にわたり計8年間、朽木荘に滞在しました。この間、朽木荘で幕府の運営が行われたことから、これを「朽木幕府」ということも過言ではありません。

1527年、細川家の内紛を機に、幕府の政権を総轄する管領職の細川高国に對して、阿波国(徳島県)の細川晴元が前將軍義輝の養子義維を擁立しました。晴元の軍勢が阿波から上洛してくると、翌年5月、將軍足利義輝は近江坂本へ落ちました。その時の軍勢は2万人でした。そして9月8日に、坂本から朽木荘へと移動してきます。義輝を護衛してきた六角氏の軍勢1万は、これを見届け湖東へ帰りました。



▲將軍の滞在時に造られた名勝「日秀隣寺庭園(別名:足利庭園)」と岩神館跡に建つ「興聖寺」

朽木荘の領主朽木氏や、西佐々木七氏の面々が、將軍義輝の親衛軍である奉公衆であったことによります。

義輝は、1531年2月1日までの2年半を、朽木荘で過ごします。義輝には、公家衆と將軍側近の「外様衆」・御供衆・御部屋衆・申次・番方・奉行・同朋・御未衆」といった者たちが付き従っていました。現在、30名の人名が確認でき、これはほんの一部と考えられます。彼らには、それぞれ供の者がいたでしょうから、相当数の者が、將軍の滞在した岩神館(現在の興聖寺)周辺の、朽木谷一帯に滞在していました。この間、岩神館には、京都から勅使(天皇の意思を伝える使者)



▲岩神館跡付近より採集された瓦片。鑑定結果から將軍が滞在した室町時代末期のものとの判定した。

が来たり、また頻りに神社や公家の使いが訪れ、幕府の政庁としての役割を果たしていました。

義輝はその後、湖東の六角定頼の援護により3年後に入洛します。朽木樞綱は、この時の將軍への忠節により、義輝から絶大な信頼を得て側近となり、御供衆や内談衆という重席につくこととなりました。

足利義輝の子義輝は、1546年に將軍宣下を受けました。しかし、1551年2月10日、三好長慶との不和により、朽木荘へやってきました。時に義輝は16歳で、翌年1月28日までの約1年間、朽木荘に滞在します。この時の滞在は12名が残存史料から判明し、これも一部と考えられます。その後、一時上洛を果たしますが、1553年8月30日に再度、京都の騒動を避けるため朽木荘へやってきます。この時の滞在は長く約4年の滞在でした。なお、義輝は朽木荘を去って7年後、三好義継・松永久秀らにより、京都で暗殺されてしまいました。

▼琵琶湖の春の風物詩である「ヨシ焼き」が、針江のヨシ群落で行われました。「ヨシ焼き」は、雑草種子や病害虫を除去し、芽吹きを促すことを目的に、毎年3月初め頃に行われています。ヨシは、水辺に生えるイネ科の1年草で、水の汚れを吸い上げて体をつくります。たった1年で3メートル以上になるヨシ。1本あたり年間約1トンの水を浄化できるそう、この浄化システムを保つために、「刈り取り」「火入れ」という人の手が必要になります。4月は新芽が勢い良く伸び始める季節。再び芽を出したヨシがまた汚れを吸い上げて成長していきます。▼春は人生の門出に臨む季節でもあります。新1年生が期待と希望に胸ぐらませ新生活をスタートさせます。初々しい新1年生の姿を見ると、初心に帰る思いで元気が湧き上がってきますね。積み重なった心のよどみを浄化してくれるのかもしれない。



春呼ぶ炎 芽吹き誘う

編集後記

広報たかしま
(平成21年4月1日発行)

第88号

発行/高島市 編集/企画部秘書広報課
〒500-0001 滋賀県高島市新旭町北畑のの5番地 ☎0740(25)8130

http://www.city.takashima.shiga.jp
t:info@city.takashima.shiga.jp



2-5 平成21年3月高島市議会定例会 市長所信表明

- 6-8 お知らせ拡大版
- 8 省エネ長者
- 9 こころの絆
- 10 みんなで5・7・5
- 11 健康生活
- 12-13 まちなタ写真館
- 14 教育委員会 information
- 15 国保年金あらかると
- 16 びょういんだより
- 17-21 情報おしらせ版
- 22 そうだ図書館に行こう♪
- 23 窓口・納税
- 24 歴史散歩

〔表紙〕
3月15日(日)、高島市民会館で『2009 たかしま市民音楽祭「響」』が開催されました。ジュニア合唱によるミュージカルをはじめ、男声合唱、シルバーコーラス、女性ボーカルアンサンブル(L.V.E)による楽しいステージ、そして合唱、吹奏楽、ダンス、演劇が融合した日曜ロードショー「愛をさがして」など、盛りだくさんで感動の舞台に、会場は万雷の拍手に包まれました。